

ディケヤ・ダダンティ由来のオリゴガラクトン酸リラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1551

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、オリゴガラクトン酸リラーゼ（EC 4.2.2.6）は、次の化学反応を触媒する酵素です： 4-(4-デオキシ-β-D-グルク-4-エヌロン酸)-D-ガラクトン酸 → 2 5-デヒドロ-4-デオキシ-D-グルクロン酸。したがって、この酵素は1つの基質、4-(4-デオキシ-β-D-グルク-4-エヌロン酸)-D-ガラクトン酸と1つの生成物、5-デヒドロ-4-デオキシ-D-グルクロン酸を持っています。この酵素は、特に多糖類に作用する炭素-酸素リラーゼのファミリーに属します。

別名 オリゴガラクトン酸リラーゼ; 不飽和オリゴガラクトン酸トランスエリミナーゼ; OGTE; EC 4.2.2.6

製品情報

種	ディケイア・ダダンティ
由来	大腸菌
形態	35 mM NaHepes バッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 4.2.2.6
CAS登録番号	9031-33-8
分子量	46.2 kDa
純度	>SDS-PAGEによって判断された90%
濃度	1 mg/mL
最適pH	7.2
最適温度	30 °C
特異性	オリゴガラクトニウム

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。